

11月26日(月)

## 傷跡をじっと見る

聖書朗読 ピリピ 4:1~14

すなわち、うしろのものを忘れ、ひたむきに前のものに向かって進み、キリスト・イエスにおいて上に召してくださる神の栄冠を得るために、目標を目ざして一心に走っているのです。  
ピリピ 3:13~14

誰にでも傷跡があるものです。私も足に鉛筆を刺されてついた傷跡があります。小学3年生のとき、私の前に座っていた女の子が、私にひどく腹を立てて刺したものです(実は、私がお子さんの髪の毛を引っ張ったからです)。また、整形手術によって意図的につけられた傷跡もあります。

傷跡は痛みとともにでき、受けた傷を思い起こさせます。しかし、時間が経つと、痛みはなくなり、傷跡が実際、どのようにしてできたかという記憶がぼんやりとしてきます。傷跡に感謝することもあります。というのは、それは生きているしるしであり、治癒の証明だからです。私たちは傷跡をとまなび、生き、生き続けるのです。

「うしろのものを忘れ」とパウロは書いています。パウロは身体的な傷跡をつける迫害を忘れ、さらに、喪失、虐待、拒絶、裏切りという感情的な傷跡を忘れましました。これまでに受けたあらゆる傷跡をもろともせず、そして傷を受けている最中でさえ、パウロは希望の中で起き上がり、救い主の召しに向かって進みました。

傷跡をじっと見えていますか? 傷ついたときのことを思い出して、動けなくなりますか? キリストにある神様の愛は、私たちをお呼びになっています。それは私たちが進み続けることを可能にするのです。

讃美歌 448

祈り お父様。傷つくことを気にして、あなたの御恵みに気づかないことを赦してください。あなたにお仕えることに、私たちの傷跡を用いることができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

スティーブ・レムレイ  
編集協力者

## 今日の方

2012年11月26日~12月2日

翻訳 村越克子

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

11月27日(火)

## 待つこと

聖書朗読 使徒の働き 16:22~34

こうして諸教会は、その信仰を強められ、日ごとに人数を増して行った。

使徒の働き 16:5

「待っている間、どうしてる？」と、フレッド・ロジャーは、彼のテレビ番組「ミスター・ロジャーのご近所さん」を観ている子どもたちに問いかけて歌います。ゲームをする、歌を歌う、本を読むなど、親が話していたり、ご飯の準備をしていたり、買い物をしているのを待つ間、小さな子どもができることをあげます。

あなたは、待っている間、何をしますか？ イライラしますか？ それとも祈っていますか？ 部屋の中をウロウロする？ テレビを観る？ カーテンの下に隠れる？ パウロとシラスは待つ間、賛美の歌を歌っていました。彼らは奥の牢に入れられ、足に足かせをかけられて座っていました。何を歌っていたのでしょうか？ おそらく詩篇を歌っていたのだと思います。

待つ間、賛美の歌を歌ったことはありますか？ この間、気持ちが動揺しているとき、「平和はまだある」を歌いました。そうすると、まるで木陰の下で待っているような感じがしました。別の悲しいときには、「Great Is Thy Faithfulness」を起き上がって歌いました。歌詞を全部思い出すことはできませんでしたが、でも賛美歌のたましいと真実、私の不安を和らげ、自分の弱さのうちに働いてくださる神様の御力に思いを至らせてくれました。

待つことは、信仰、望み、愛を試されることです。賛美歌を歌うことが、それを助けてくれます。

讃美歌 第二編 208

祈り お父様、あなたは慈しみ深く、忍耐強いお方です。不安なときに鎮めてくださり、待っている間に考えるべき良きことを備えてくださいますことを感謝します。

イエス様の御名において。アーメン。

エミリー・Y・レムレイ  
編集協力者

11月28日(水)

## 主は備えてくださいます

聖書朗読 創世記 22:11~14

また、私の神は、キリスト・イエスにあるご自身の栄光の富をもって、あなたがたの必要をすべて満たしてくださいませ。 ピリピ 4:19

アブラハムは常に神様に従っていましたが、その中でも最も大きな従順の行ないをしました。アブラハムは息子を何ものにも代えがたく愛していましたが、彼の人生において、神様が一番でした。イサクを全焼のいけにえとして神様にささげるように言われたとき、アブラハムはそれに従いましたが、主の御使いが、彼の手を止めました。

神様は、代わりに角をやぶにひっかけた雄羊を備えてくださいました。それで、アブラハムはその場所を「主が備えてくださる」と名づけました。「Jehovah Jireh エホバ(アドナイ)ーイルエ」とは「主が備えてくださる」という意味です。神様は、アブラハムがイサクをいけにえにするのを止めましたが、ご自身の御子からは十字架上の死を取り除かれませんでした。神様は、私たちを永遠の死から救い出し、代わりに永遠のいのちを与えてくださいました。

なんという救い主でしょう！ かくも偉大なる愛を推し測ることは、とてもできません。私の理解を超えています。あなたや私に向けられた神様の偉大なる愛の高さも幅も深さも理解することは、とてもできません。神様は、私たちの幸せのためにすべてを備えてくださいます。神様は、偉大な備えをするお方なのです。神様がすべての必要を満たしてくださいませのですから、心配することなどありません。

喜びましょう。絶えず祈りましょう。感謝しましょう。私たちを永遠の愛で愛してくださいませる神様がともにいてくださるのですから。

讃美歌 第二編 22

祈り 愛なる主よ。あなたは全能で、輝かしく、美しく、聖なるお方です。今日、あなたをたたえます。私たちは、すべてのご栄光を私たちの神様であるあなたに帰し、賛美をささげます。私たちの救い主の貴い御名において。その御名はイエス様です。アーメン。

ジョン・クレイトン  
ニューメキシコ州 ポータルズ

11月29日(木)

## 結 婚 っ て ど う ？

聖書朗読 創世記 24:1~9

それゆえ男はその父母を離れ、妻と結び合い、ふたりは一体となるのである。

創世記 2:24

結婚式の平均費用は2万2000ドル以上かかると言われます。さらに、結婚式の計画について、何時間も何週間も何か月も考えます。でも、「結婚」そのものを考えることに費やす時間はどのくらいでしょうか。結婚式で誓いの言葉言う前に、結婚のために二人は何をしていますか？

結婚についての神様のお考えは、聖書の最初から最後まで一貫しています。創世記の中の結婚についての箇所は、聖書の中で最も長いものです。創世記において31節が天地創造の記述にあてられ、24節が水により世界が破壊されることを記述しています。それに対して、アブラハムが神様のみこころにかなうイサクの花嫁を見つける話は、なんと67節にもわたっています。

聖書によれば、結婚式を計画するよりも結婚に多くの意味があります。創世記24章の1節だけが結婚式について書いています。24章の最後の節が、リベカを見つけ出すという従順、信仰、希望の頂点になっています。『イサクは、その母サラの天幕にリベカを連れて行き、リベカをめとり、彼女は彼の妻となった。彼は彼女を愛した。』(創世記 24:67)。結婚式よりも、それに先立つ出来事の方が明らかに重要なのです。

神様のみこころを求めるために時間をさき、備えをしましょう。結婚式は良いものですが、結婚はもっと良いものなのです。

讚美歌 第二編 133

祈り 御在天のお父様、あなたをご覧になるように、結婚がどのようなことであるかを見させてください。結婚という貴い贈り物とみこころにかなう結婚を証している人たちのお手本を感謝します。

イエス様の御名において。アーメン。

ジョシュ・バーネット

テネシー州 ナッシュビル

11月30日(金)

## く つ を 脱 ぎ な さ い

聖書朗読 出エジプト 3:2~9

「あなたの足のはきものを脱げ。あなたの立っている場所は聖なる所である。」

ヨシュア記 5:15

配達の仕事をしていたとき、「靴を脱いでください」という意味の標識のある家がありました。家の持ち主は床を保護し、そのリクエストに従うことは、そのような標識を書く人への敬意をあらわしました。

もちろん、神様のご存在する所にあつては、神様が好まれることに敬意を払うこと以上のことを要求します。神様の壮大さは、私たちの自己執着など圧倒してしまいます。私たちにできることは、神様にひれふすことだけです。神様が「あなたの足のくつを脱げ」とモーセに命じられたとき、モーセは疑問をもつことも、ためらうこともありませんでした。神様の存在は強大であり、従わないことなど不可能なのです。

のちに、ヨシュアがエリコの城門の外で抜き身の剣を手に持った人と向かい合い、彼が「あなたは私たちの味方ですか。それとも私たちの敵なのですか」と尋ねたとき、その人は「あなたの足のはきものを脱げ。あなたの立っている場所は聖なる所である」と答えました。そして、ヨシュアははきものを脱ぎました。神様の御名を届ける人の前でさえも、尊敬と敬意が求められます。

自分が常に神様の存在のうちあると理解するなら、神様の存在に気づいていてもいなくても、素足で行動するようになります。私たちの行動は、神様の御前でなされるようになり、神様の愛のうちにある行ないとなります。

讚美歌 66

祈り 親愛なる主よ。私たちが常にあなたの存在のうちにあることを覚えることができますように助けてください。そして、私たちがどこにいようと、あなたの道を聖なるものとして敬意を払っていることを周りの人たちに示すことができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

ジョージ・V・モーテンセン

ワシントン州 カー克兰ド

12月1日(土)

## 普通の日

聖書朗読 ヨシュア記 1:1~9

悪い者たちをねたんではならない。彼らとともにいることを望んではならない。  
箴言 24:1

「今日はどうだった？」と母親が、学校からとんで帰って来た娘に聞きました。「いつもと変わらないと思うけど」と娘は答えます。2人はキッチンを行きかいながら、母親は「私もよ」と答えました。

もちろん、娘が言いたいことは、彼女の今日1日がほとんど平穩無事だったということでした。自分がしたことの影響について特に何も考えず、ほぼ毎日していることを今日もしたということです。彼女はまだ子どもですから。

母親にとって「普通の日」とは、決まりきったありふれた日ではありません。母親には2つの常勤の仕事と家事がありました。優先順位をスケジューリングすることは、母親にとってコツのいることでした。というのは、母親は、娘の霊的な機会をととても意識していたからです。母親は、娘が貧しい隣人と食べ物や着る物を分け合うことを考える手助けをしていました。母親は、娘が学校で受けた影響について話すときに、自分が家にいられるように仕事の予定を立てていました。母と娘で料理をしたり、後片づけをしているとき、母親は笑い、そして、神様がくださったすべての御恵みに感謝しました。

今度、あなたが「今日、どうだった？」と尋ねるときは、自分が尋ねていることをよく考えて、答えを聞きましよう。「普通の日」なんてありません。毎日が驚くべき、素晴らしい贈り物なのですから。

聖歌 657

祈り お父様、自分が成長するあらゆる機会、「普通の日」におけるご奉仕についてよく考え、日々をあなたにご栄光を帰すために用いることができますように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

マーク・R・ガイ

カリフォルニア州 パレイオウ

12月2日(日)

## 決意の瞬間

聖書朗読 ヨシュア記 1:10~18

彼らはヨシュアに答えて言った。「あなたが私たちに命じたことは、何でも行ないます。また、あなたが遣わす所、どこへでもまいります。」

ヨシュア記 1:16

さまよえるヘブル人の最後の日々を記したこの箇所は、私たちがヨシュアと残った人々とともにカナン縁につれてきます。この先に何があるのでしょうか？乳と蜜の流れる地、約束の地でしょうか？それとも、また何年も戦いと血と汗でしょうか？聖霊を通して、私たちは、ヨシュアとルベン人、ガド人、マナセの半部族との対話の間に立ち、近づいて聞くなら、旧約聖書の救いのテーマのエコーを聞くことができます。神様は、私たちに喜んで備えてくださいます。神様は、私たちの忠実な行ないに榮譽を授けてくださると約束してくださいます。神様は、私たちが、互いに愛し合い、互いのために生きることで、神様への献身とすべてをお任せして生きるように命じられます。

ヨルダン川の東側に向かおうとしている人たちにとって、なんという壮大な決意の瞬間でしょう！そして、今日、主からいただいている自分の使命を考えることは、私たちにとって、なんという素晴らしいことでしょうか！今日、私はどのようなことをしますか？

- 人生における神様の御力に耳を傾け、従いますか？
- 神様がどのように私に備えてくださるかを理解しますか？
- 神様のお約束に対する自分の信頼を実行しますか？
- 信仰という旅をともにしている人たちを助けますか？

ユダヤ人の祖先たちの答えは、今日を生きる私たちへの挑戦です。強くあれ。英雄しくあれ。

聖歌 295

祈り ああ、主、神様、全能者よ。聖書においてあなたが必ずお約束を守られる方であることを知り、その証人となることは、御恵みというなんという素晴らしい贈り物でしょう！ありがとうございます。

イエス様の御名において。アーメン。

ケリー・ミラー

カリフォルニア州 マリブ